



買い物に行ける力をシェアしよう!!

えんじよるの通信

えんじよるのは「買物に困っている人」と「地域のボランティア」を、
電話の着信だけでマッチングさせることができる、日本で初めてのITシステムです。

目指すは、「買物弱者問題解決」と「助け合いあふれる地域づくり」!

詳しくはホームページをご覧ください。

えんじよるの

検索

特許取得

宇都隆史外務副大臣・三原じゅん子厚生労働副大臣・園田修光厚生労働委員長に 「えんじよるの」を提案!

令和2年10月22日 厚生労働省 副大臣室にて
代表の美齊津康弘が、「えんじよるの」がこれからの
社会に必要であることを熱く語ってきました。
えんじよるのが目指す「助け合いによる地域づくり」
と、厚生労働省が推し進める「地域包括ケアシステム」
の目的が合致しており、その事が宇都外務副大臣
の目に留まったことで実現した夢のプレゼンテー
ション。

「えんじよるのプロジェクト」はケアマネジャー
である美齊津が、買い物に行けない高齢者を目の前
にして、専門家として何も提案できない事に悔しさ
を感じた経験を元に、何とかこの問題を解決しよう
と2018年2月から一人で始めた事業です。彼は世
の中にある様々な買い物弱者対策事業の問題点を彼な
りに分析し、その解決策にケアマネジャーとしての
現場感覚を取り入れ、ITシステム「えんじよるの」
をつくりました。

「このシステムが広がれば、買い物に困っている人が
大勢助かる。そして地域に
助け合いが生まれる。」
そんな思いで挑戦し続けた
今日までの2年半、美齊津
はその集大成を厚生労働省
という最高の舞台でプレゼ
ンテーションをすることが
できました。



国会議事堂はすぐ近く



この事業を始めた2018年2月、当時45歳の美
齊津は夜中一人で机に向かい真っ白なノートに
アイデアを書きだしながら、3年間だけ頑張ろう
と心に決めていました。彼の母と兄が他界した48
才になるまであと3年。やるなら今しかない。き
っと二人も応援してくれる。そうやって走り出
した事業でした。そしてその3年が半年後に迫った
10月、今回の奇跡的なチャンスが訪れたのです。

背水の陣で臨んだ今回のプレゼンテーション。
美齊津は確かな手応えを感じていましたが、果た
して彼の「えんじよるの」に込めた想いは3人の
心に届いたのでしょうか!?

今後の展開に乞うご期待!



えんじよるのテレビCMが完成!

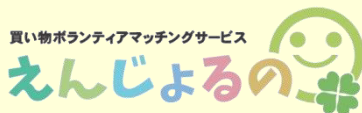
只今、佐久市ケーブルテレビ・小諸市ケーブルテレビ
・フェイスブック・インスタグラムにて好評配信中!
「えんじよるの」で助け合いの輪、もっと広がり!
こちらがそのCMです。 ⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒



<https://youtu.be/LuSkKQQ1kdl>

お問合せ 050-3579-3434 (ミサイヅ)

買い物ボランティアマッチングサービス



えんじよるの

検索

素敵なボランティア紹介

今回ご紹介するのは、小柄で笑顔がキュートなKさん。昨年看護大学を卒業されたばかりの初々しい看護師さんです。ご出身は東北ですが、先進的な佐久市の地域医療に憧れて、なんと今年の春にお一人で引越して来られたそうです。

そんな行動力のあるKさんにボランティアについての想いをお聞きしました。

佐久に来て間もないですが豊かな自然と優しさに包まれたこの地域が大好きになりました。微力ながら地域の皆さんのお力になれたら嬉しいです。生活の中でちょっと困ったな時は、すぐ近くに助けてくれる人がいます。喜んでお買い物に行くので、遠慮せずにご気軽にご連絡ください！お待ちしております♪



「東北のご出身ということは大震災の時もボランティアされたのですか？」

Kさん：「震災の時は現地に直接出向くことはできなかったのですが、昨年の台風19号で石巻市が水害に遭った時にボランティアに参加しました。石巻市は震災に加えて水害でも大きな被害を受け、現地の人々の中には今も心に大きな傷を負っている方も大勢います。だからかも知れませんが、石巻市にはお互いに声を掛け合ってサッと手を差し伸べてくれる人が多い印象でした。それも知り合いだけじゃなくて、よそから来た人にも誰にでもそうなんです。」

「悲しみや苦勞を背負ってるからこそ人にも優しくできるのかも知れませんか。」

Kさん：「そうですね。私は石巻市には住んでいませんでしたが、素敵な方々との出会いもあって、何度でも足を運びたいと思える場所になりました。」

「佐久市という見知らぬ土地に来て、買い物ボランティアをしようと思ったのはどうしてですか？」

Kさん：「石巻市みたいな気軽に助け合える地域に憧れて、そんな地域づくりの活動に少しでも力になりたいと思ったからです。自分の仕事が休みの時でもできるボランティアを探していたら「えんじょるの」と出会いました。」

見知らぬ地に来たばかりの若いKさんが、「この地域を良くしたい」と心から訴える姿には感動するものがありました。Kさんのような若い人たちの純粋な想いは、これからの日本にとって貴重な宝であり希望の光ではないでしょうか。今後、Kさんの様な若者が希望を持てる社会にしていく為にも、「えんじょるの」はこれからも助け合いの大切さを訴えていきたいと思えます。石巻市の様な社会を目指して！

最後にKさん、えんじょるのに一言お願いします！

Kさん：「えんじょるのは絶対に広がると思っています！」

Kさん、ありがとうございました～。えんじょるのもKさんを応援していきますよ～(#^^#)



マキ奈尾美さんコンサート

【命ある限り輝いて】

@軽井沢大賀ホール



日本人が決して忘れてはならない8月6日「広島原爆の日」に合わせて開催されました。徹底したコロナ対策の中で行われた、独唱と弾き語りによる圧巻の2時間。アンコールは93歳のテノール歌手間紀徹さんが登場し、その素晴らしい歌声に会場は大盛り上がり！観客の誰もが心を震わせた感動的なコンサートになりました。

えんじょるのテーマソング「出逢い」もコンサートデビューしましたよ。コチラがその時の演奏です。 →



<https://youtu.be/hfE8zWR6CXE>

